

SONY®

ICレコーダー

取扱説明書



インターネット上でヘルプガイド(Web取扱説明書)を閲覧できます(パソコン・スマートフォン用)。ICレコーダーの詳しい使いかたや困ったときの対処方法を説明しています。
<http://rd1.sony.net/help/icd/p47/ja/>



ICD-PX470F



警告

安全のために

お買い上げいただきありがとうございます。

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この「取扱説明書」と「ヘルプガイド」(パソコン等で見える電子マニュアル)には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。


よくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。


事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

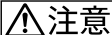
- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わない**
- **万一異常が起きたら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

 **危険** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなど人身事故が生じます。

 **警告** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

 **注意** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止



接触禁止

マニュアルについて



紙で見る

取扱説明書(本書)

ICレコーダーの基本操作(録音・再生・削除)や上手に録音、再生するための情報、困ったときの解決方法などを記載しています。

Sound Organizer 2

(サウンドオーガナイザー 2)を使う(別冊)

パソコンにインストールできるソフトウェア「Sound Organizer 2」のインストール方法やできること、基本的な操作方法などを記載しています。



パソコン
スマートフォン
タブレットで
見る

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ICレコーダーの楽しみかたや機能の詳細説明、困ったときの対処方法などをパソコンで調べることができます。また、外出先などでスマートフォンやタブレット端末で調べることもできます。閲覧は無料ですが、通信料は通信契約に依存します。

ICレコーダー サポート・お問い合わせページ(72 ページ)

トラブルの解決方法や接続機器の互換性情報、最新情報を掲載しています。

目次

マニュアルについて	4
-----------------	---

準備する..... 6

準備1 箱の中身を確認する	6
準備2 各部のなまえを確認する	7
準備3 電源を入れる	8
準備4 初期設定をする	10
microSDカードを入れる	11

メニューの見かた.....14

ホームメニューで 使いたい機能を選ぶ	14
オプションメニューで設定する	16

録音する..... 20

録音した音声ファイルの 保存場所の変更	22
上手に録音するコツ ノイズの原因と対策	23
その他の方法で録音する	30
他の機器の音声を録音する	32
ICレコーダーの音を 他の機器で録音する	33

再生する..... 34

ICレコーダーで録音した ファイルを再生する	34
ICレコーダーに転送した 音楽ファイルを再生する	36
フォルダとファイルについて	37
その他の方法で再生する	41

FMラジオを聞く..... 46

FMラジオ放送を録音する	50
FMラジオの設定を変更する	51

編集する..... 54

ファイルを削除する	54
ファイルを保護する	56
トラックマークを使う	57
ファイルを分割する	59
フォルダ内のファイルを整理する (ファイル移動/ファイルコピー) ..	60
各種設定を変更する	61
パソコンを活用する	64
必要なシステム構成	65

困ったときは..... 66

症状から調べる	67
サポートページ/ ヘルプガイドについて	72
保証書とアフターサービス	73

その他.....74

主な仕様	74
使用上のご注意	78
著作権と商標について	86
ライセンスについて	87
索引	88
お問い合わせ窓口のご案内	90

準備する

準備1 箱の中身を確認する

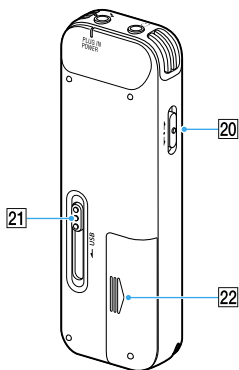
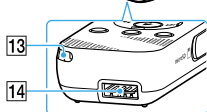
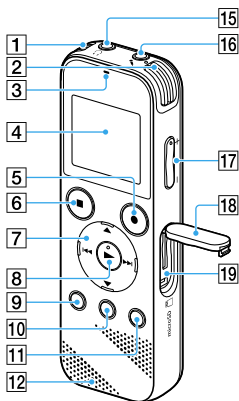
はじめに、以下の同梱物が揃っているかを確認してください。

- 本体 (1)
- 単4形アルカリ乾電池 (2)
- 取扱説明書 (本書) (1)
- Sound Organizer 2 (サウンドオーガナイザー 2) を使う (1)
- 保証書 (1)
- 「製品登録」のおすすめ (1)

ICレコーダーの本体メモリーには、ソフトウェアSound Organizer 2が保存されています。Sound Organizer 1.6をお使いの方も、必ずSound Organizer 2をインストールしてお使いください。Sound Organizer 2のインストールについて詳しくは、「Sound Organizer 2を使う」(別冊)をご覧ください。

この取扱説明書で説明している以外の変更や改造を行った場合、ICレコーダーを使用できなくなることがありますので、ご注意ください。

準備2 各部のなまえを確認する



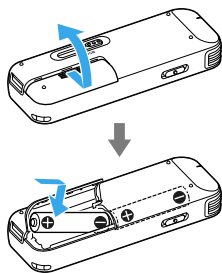
- 1 内蔵マイク (L)
- 2 内蔵マイク (R)
- 3 動作表示ランプ
- 4 表示窓
- 5 ●録音／一時停止ボタン
- 6 ■停止ボタン
- 7 コントロールボタン(▲DPC(速度調節)、▼↶(リピート) A-B / ⏏(早戻し)、▶▶(早送り))
- 8 ▶(再生／決定) ボタン*
- 9 戻る／ホーム(長押し) ボタン
- 10 トラックマークボタン
- 11 オプションボタン
- 12 内蔵スピーカー
- 13 ストラップ取り付け部
(ストラップは付属していません。)
- 14 USB端子格納部
- 15 ♪(ヘッドホン) ジャック*
- 16 🎤(マイク) ジャック(プラグインパワー)*
- 17 音量－／＋ボタン*
- 18 スロット蓋
- 19 microSDメモリーカードスロット
(スロット蓋の中にあります。)
- 20 ホールド・電源スイッチ
- 21 USBつまみ(スライド式USB端子用)
- 22 電池蓋

* 凸点(突起)がついています。操作の目安、端子の識別としてお使いください。

準備3 電源を入れる

電池を入れる

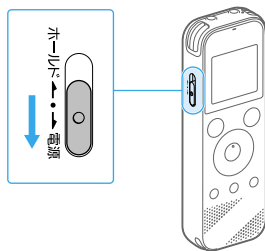
- 1 電池蓋を矢印の方向へずらして開け、付属の単4形アルカリ乾電池を入れて蓋を閉める。



- ・ ICレコーダーでは、以下の乾電池、充電池をお使いになります。
 - 単4形アルカリ乾電池2本(付属)
 - 充電式ニッケル水素電池単4形(市販)
- ・ 乾電池を交換するときは、必ず2本とも新しい乾電池または充電済みのニッケル水素電池に交換してください。
- ・ ICレコーダーではニッケル水素電池を充電することはできません。充電するときは、市販のニッケル水素電池専用充電器をご利用ください。

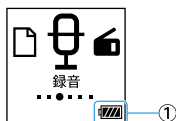
電源を入れる


- 1 画面が表示されるまで、ホルド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせる。




電池を交換する時期

電池の残量が少なくなってくると、画面右下の表示①でお知らせします。




 : 電池の残量は充分です。



 : 電池の交換時期が近づいています。



 : 電池残量がなく、操作ができなくなります。

電源を切るには

画面に「電源オフ」と表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせる。

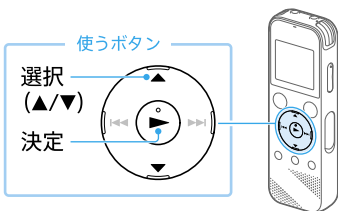
- ・ 停止状態で操作をしないまま放置していると、オートパワーオフ機能が働きます。(お買い上げ時の設定は、10分になっています。)
- ・ 電池を交換するときは、ICレコーダーの電源を切ってから行ってください。

準備4 初期設定をする

お買い上げのあと初めて電源を入れたときは、「初期設定をしてください」と表示されます。

1 「はい」を選択した状態で、決定する。

時計設定画面が表示されます。



2 年(西暦)を選び、決定する。 同じ操作を繰り返し、月、日、 時、分の順に設定する。

日付時刻設定		
Y	M	D
2016/	1/	1
12:00 AM		

3 分を設定したら、「次へ」を選 び、決定する。

操作音の設定画面が表示されま
す。

日付時刻設定
2016/10/10
12:00 AM
次へ
やり直す

4 「オン」または「オフ」を選び、 決定する。

設定が完了すると、ホームメ
ニュー画面が表示されます。

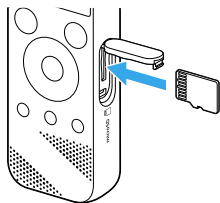
操作音
✓オン
オフ

- ・ 戻る／ホーム(長押し)ボタンを押すと、カーソルが1つ前の項目に戻ります。
- ・ 時計設定と操作音設定は、ホームメニュー(14ページ)→「各種設定」→「共通設定」で後から変更もできます。
- ・ 電池を入れ直したり、新しい電池に取り換えたりしたときは、時計設定の画面が表示され、電池を取り外す前に最後にICレコーダーを操作した日時が表示されます。現在の日時を設定し直してください。
- ・ 初期設定後、ホールドにすると現在時刻が表示されます。

microSDカードを入れる

ICレコーダーでは、内蔵メモリーのほかに別売りのmicroSDカードへ音声を保存することができます。

- 1 停止中に、microSDカードをメモリーカードスロットにカチッと音がするまでしっかり差し込む。microSDカードの端子面が本体手前になるように、図の方向に差し込んでください。



- 2 スロット蓋を閉める。

以下のmicroSDカードを使用できます。

microSDHCカード	4 GB ~ 32 GB
---------------------	--------------

最新の動作確認済みメモリーカードについては、90ページに記載のICレコーダー サポート・お問い合わせページをご覧ください。

- ・ microSDXCカードはご使用になれません。
- ・ 対応仕様のメモリーカードでも、すべてのメモリーカードでの動作を保証するものではありません。
- ・ メモリーカードが認識されない場合はメモリーカードを取り出し、再度入れ直してください。
- ・ メモリーカードスロットの挿入口には、液体・金属・燃えやすいものなど、メモリーカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ・ 録音する前に、メモリーカードに保存されているデータをパソコンに保存し、ICレコーダーで初期化して空の状態にしてからお使いください(62ページ)。

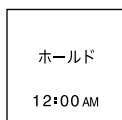
誤操作を防止する(ホールド)

持ち運ぶ際など、誤ってボタンが押されて動作することを防ぐために、すべてのボタン操作を無効にすることができます。

ホールド・電源スイッチを「ホールド」の方向にスライドさせます。



電源が入っているときに操作すると、「ホールド」と約3秒間表示されます。




電源が自動的に切れるまでの時間を設定する(オートパワーオフ)

あらかじめ指定した時間が経過すると、自動的にICレコーダーの電源が切れるように設定できます。オートパワーオフ機能は、ICレコーダーが停止状態で、操作をしないまま設定した時間が経過したときに働きます。

お買い上げ時の設定は、10分になっています。

共通設定
ランプ
操作音
時計設定
オートパワーオフ
各種初期化

ホームメニュー → 「 各種設定」 → 「共通設定」 → 「オートパワーオフ」 → お好みの時間を選ぶ。

選べる時間は以下のとおりです。

5分、10分、30分、60分

「オフ」を選ぶとオートパワーオフは働きません。

USB ACアダプターをつないで使う

別売りのUSB ACアダプター (AC-UD20) を使って、ICレコーダーを家庭用電源コンセントにつないで使用することができます。

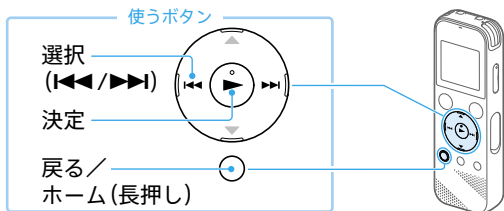
長時間録音をする場合などに便利です。

- ・ ICレコーダーをUSB ACアダプターから取り外すときは、動作が停止していることを確認してから行ってください。
 - ・ USB ACアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
-

メニューの見かた

ホームメニューで使いたい機能を選ぶ

ICレコーダーでは、各機能の入り口がホームメニューです。ここから各機能を選んだり、録音したファイルを探したり、設定を変更したりすることができます。



- 1 戻る／ホーム(長押し)ボタンを長押しする。
ホームメニュー画面が表示されます。
ホームメニューは、15ページの図の順序で並んでいます。
- 2 使いたい機能を選択して、決定する。



ホームメニューで選べる機能

以下の機能が選べます。



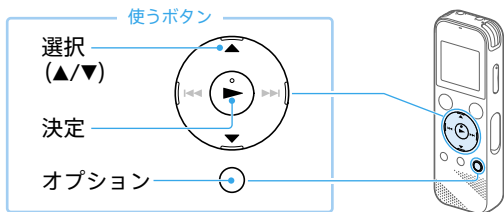
ミュージック	パソコンから転送した音楽ファイルを選んで、再生できます。音楽ファイルは、「全曲」、「アルバム」、「アーティスト」または「フォルダ」のいずれかの方法から探せます。
録音したファイル	ICレコーダーで録音したファイルを選んで、再生できます。録音したファイルは、「最新の録音」、「録音日で探す」、「録音シーンで探す」または「フォルダ」のいずれかの方法から探せます。
録音	録音画面を表示します。録音を開始するには、●録音／一時停止ボタンを押します。
FMラジオ	FMラジオ画面を表示して、FMラジオを聞いたり、録音したりすることができます。
各種設定	ICレコーダーのさまざまな設定(17ページ)を変更できます。
XX画面へ*	ホームメニューに入る前に表示していた画面に戻ります。

* XXには、現在使用している機能が表示されます。

ホームメニューで操作中に■停止ボタンを押すと、ホームメニューに入る前に表示していた画面に戻ります。

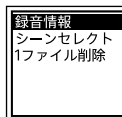
オプションメニューで設定する

オプションボタンを押すと、使用している機能に応じたオプションメニューが表示され、設定の変更などができます。



- 1 ホームメニュー(14 ページ)で機能を選んだあと、オプションボタンを押す。

使用している機能のオプションメニュー(18 ページ)が表示されます。



例) 録音停止時のオプションメニュー表示

- 2 設定したい項目を選び、決定する。
- 3 設定内容を選び、決定する。

- ・ 画面によっては、オプションメニューが表示されないこともあります。
- ・ メニュー操作中に戻る／ホーム(長押し)ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

各種設定メニュー一覧

ホームメニュー(14 ページ)で「 各種設定」を選んでいるときに選択可能なメニューです。

設定メニュー	設定項目	参照ページ
録音設定	録音先フォルダ	22
	フォルダ作成	22
	シーンセレクト	24
	録音モード	27
	内蔵マイク感度設定	27
	フォーカス/ワイド	28
	外部入力設定	29
	録音フィルター	29
	VOR	30
	自動トラックマーク	30
再生設定	クリアボイス	40
	イージーサーチ	41
	再生モード	43
	再生範囲設定	43
	録音先フォルダ(FMラジオ)	51
FMラジオ設定	フォルダ作成	22
	録音モード(FMラジオ)	51
	音声出力選択	49
	プリセットリスト選択	52
	地域設定	52
	スキャン感度	49
	自動トラックマーク(FMラジオ)	30
	ランプ	61
共通設定	操作音	61
	時計設定	61
	オートパワーオフ	12
	各種初期化	62
	録音可能時間	63
	本体情報	63

オプションメニュー一覧

録音

録音停止中に表示できます。

オプションメニュー名	参照ページ
録音情報	29
シーンセレクト	24
1ファイル削除	54

録音したファイル

録音したファイルの一覧を表示させているときや再生中、再生停止中に表示できます。

条件によっては表示されない項目もあります。

オプションメニュー名	参照ページ
書き起こし用再生	42
書き起こし終了	42
クリアボイス	40
イージーサーチ	41
再生モード	43
再生範囲設定	43
1ファイル削除	54
リスト内全削除	54
フォルダ内全削除	54
保護	56
保護解除	56
トラックマーク削除	58
分割	59
ファイル移動/コピー	60
ファイル情報	44
フォルダ作成	22
フォルダ削除	55

ミュージック

パソコンから転送した音楽ファイルの再生中、再生停止中に表示できません。

条件によっては表示されない項目もあります。

オプションメニュー名	参照ページ
書き起こし用再生	42
書き起こし終了	42
イージーサーチ	41
再生モード	43
再生範囲設定	43
1ファイル削除	54
リスト内全削除	54
フォルダ内全削除	54
保護	56
保護解除	56
トラックマーク削除	58
ファイル情報	44
フォルダ削除	55


FMラジオ

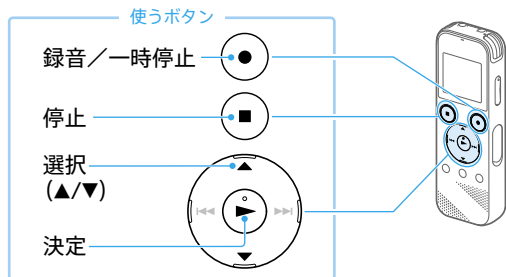
FMラジオ画面で表示できます。


条件によっては表示されない項目もあります。

オプションメニュー名	参照ページ
プリセットに登録	51
プリセットを解除	52
音声出力選択	49
プリセットリスト選択	52
地域設定	52
放送局名変更	53
オートプリセット	53
スキャン感度	49

録音する

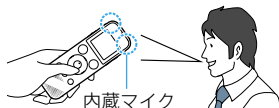
録音した音声ファイルは、お買い上げ時の設定では「 録音したファイル」の「FOLDER01」フォルダに保存されます。「FOLDER01」以外のフォルダに録音したいときは、新しくフォルダを作成してください(22 ページ)。



- 1 ホームメニュー(14 ページ)で「 録音」を選び、決定する。
録音停止画面が表示されます。



- 2 録音を保存したいフォルダを選ぶ(22 ページ)。
- 3 内蔵マイクを録音する音の方向へ向ける。



4 録音／一時停止ボタンを押す。

「録音」が表示されて録音が始まり、動作表示ランプが赤く点灯します。

録音／一時停止ボタンは、長押しすると一時停止状態になり録音できません。

録音中は録音レベルガイド(①)が表示されます。

図のように、録音中の入力レベルの■が3～4個になるように、内蔵マイクの方向や音源からの距離を調節したり、内蔵マイクの感度を設定(27ページ)したりして、音源に合った適切な範囲に調節してください。



5 録音を止めるには、停止ボタンを押す。

「保存中」と表示され、録音停止画面に戻ります。

録音停止後に▶(再生)ボタンを押すと、今録音したファイルを再生できません。



- 再生中やメニューを表示中でも、●録音／一時停止ボタンを押すと録音を開始できます。
- 録音中は、メニューを表示していても、●録音／一時停止ボタンを押して録音を一時停止できます。
- 別売りのステレオヘッドホンを○(ヘッドホン)ジャックにつないで、録音中の音を確認しながら録音することをおすすめします。
- ファイルは、録音開始日時に録音モードの拡張子が付いたもの(例: 161010_0706.mp3)がファイル名となります。
- 再生または停止中に●録音／一時停止ボタンを長押しすると、録音一時停止状態となります。
不要な音声データを録音することなく録音レベルを調整するときに便利です。
- 録音の途中でファイルサイズの上限(LPCMは4 GB、MP3は1 GB)を超えてしまう場合は、ファイルが分割されます。
分割された位置の前後で音切れが発生する場合があります。

ためし録りのススメ


部屋の大きさ、話をする人の声の大きさ、パソコンを近くで使用しているのかどうか…。

録音環境は人や状況、場所によってさまざまです。望まれる「音質」も録音対象によって変わってきます。

ためし録りは大切な録音を失敗しないため、また録音環境を整えて理想の音質に近づけるために大変有効なものです。


便利な情報

録音した音声ファイルの保存場所の変更

録音した音声ファイルは、お買い上げ時の設定では「 録音したファイル」の「FOLDER01」フォルダに保存されますが、新しいフォルダを作成して、作成したフォルダを指定することで保存先を変更することができます。

フォルダを作成する


録音設定
録音先フォルダ
フォルダ作成
シーンセレクト
録音モード
内蔵マイク感度設定

- ① ホームメニューで「 各種設定」→「録音設定」→「フォルダ作成」を選び、決定する。
- ② ▲または▼ボタンで「内蔵メモリー」または「SDカード」を選び、決定する。
- ③ ▲または▼ボタンでフォルダ名をテンプレートから選び、決定する。
フォルダが追加されます。

不要になったフォルダは削除することができます(55 ページ)。

録音先フォルダを変更する

録音設定
録音先フォルダ
フォルダ作成
シーンセレクト
録音モード
内蔵マイク感度設定

- ① ホームメニューで「 各種設定」→「録音設定」→「録音先フォルダ」を選び、決定する。
「メモリー選択」画面が表示されます。
- ② ▲または▼ボタンで「内蔵メモリー」または「SDカード」を選び、決定する。
- ③ ▲または▼ボタンを押してフォルダを選び、決定する。

上手に録音するコツーノイズの原因と対策

ノイズとして録音される可能性のある音について

ICレコーダーには、音声以外のさまざまな音が録音されてしまうことがあり、ノイズとして聞こえてしまいます。



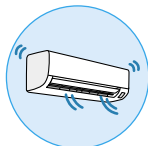
触れたときの音



机に当たる音



衣服と擦れる音



エアコンやパソコンなどの動作音や振動



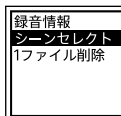
マイクにあたる吐息

録音されるノイズを軽減するには

- 録音中に本体に触れると、タッチノイズとして録音されてしまう場合があります。録音が終わるまでは、なるべく本体に触れないようにしてください。
- ノイズの原因となっている音から遠ざけるか、取りのぞいてください。
- 状況や録音シーンに合わせて、次の機能をお使いください。
 - シーンセレクト(24 ページ)
 - 録音モード(27 ページ)
 - 内蔵マイク感度設定(27 ページ)
 - 録音フィルター(29 ページ)

シーンセレクト機能を使う

シーンセレクト機能は、さまざまな録音シーンに合わせて、録音モードやマイク感度などの録音に必要な項目を、一括でおすすめの設定に切り替えることができます。



録音停止中にオプションメニューで「シーンセレクト」→用途に合った項目(シーン)を選ぶ。

• おまかせボイス i[®] (お買い上げ時の設定)

入力音声レベルを判断して適正な感度で録音します。

感度設定を間違えて再生時によく聞こえないなどの録音ミスを少なくします。

「おまかせボイス」は人の声(音声)に特化した設定項目ですが、くしゃみや静かな会話からの急な笑い声など、突発的な大きな音が入力された場合は、音がひずむことがあります。

• 会議

広い会議室での録音など、幅広い用途に適しています。ワイド録音(28ページ)に設定されます。

ハンカチなどの上にICレコーダーをのせることで、机から伝わる振動音などのノイズを低減できます。



• 講演

講演会や講義を録音するときに適しています。フォーカス録音(28ページ)に設定されます。



• ボイスメモ

マイクを口元に近づけて録音するときに適しています。録音するときは、マイク部息がかからないように口のやや横に本体を近づけましょう。



• インタビュー

インタビューや少人数での打ち合わせなど、1m～2mくらいの距離で人の声を録音するときに適しています。マイクの向きをインタビュー相手に合わせて録音します。



• 歌・音楽

合唱の練習やアコースティックギター、ピアノ、バイオリンなどの楽器の音を1m～2mくらいの距離で録音するときに適しています。ICレコーダーをピアノの上のせて録音すると、ピアノを弾くときの振動も一緒に録音されてしまいます。ICレコーダーをピアノから1m～2m離して録音してください。



• バンド(大音量)





大きな音のバンド練習やカラオケなどの録音を1m～2mくらいの距離で録音するときに適しています。






- ・ 設定したシーンは録音画面にアイコンで表示されます。
シーンを設定していても、「録音モード」や「マイク感度」の設定は変更可能です。
- ・ 登録されているシーンは、すべての環境に対応しているわけではありません。環境に合ったシーンがない場合は、シーン選択後に「録音モード」や「マイク感度」などの設定を変更してご使用ください。

シーンセレクト機能のお買い上げ時の録音設定について

シーンセレクト機能の各項目は、以下のように設定されています(お買い上げ時の設定)。


	おまかせボイス 	会議 	講演 	ボイスメモ 
録音モード	MP3 192 kbps	MP3 192 kbps	MP3 192 kbps	MP3 128 kbps
内蔵マイク 感度設定	音声用 オート	音声用 中	音声用 中	音声用 低
フォーカス ／ワイド	オフ	ワイド	フォーカス	オフ
外部入力設定 (MIC IN)	音声用 オート	音声用 中	音声用 中	音声用 低
VOR	オフ	オフ	オフ	オフ
録音フィルター	LCF (Low Cut)	NCF (Noise Cut)	NCF (Noise Cut)	LCF (Low Cut)

	インタビュー 	歌・音楽 	バンド(大音量) 	オフ
録音モード	MP3 128 kbps	MP3 192 kbps	MP3 192 kbps	MP3 192 kbps
内蔵マイク 感度設定	音声用 中	音楽用 中(音楽)	音楽用 低(音楽)	音声用 中
フォーカス ／ワイド	オフ	オフ	オフ	オフ
外部入力設定 (MIC IN)	音声用 中	音楽用 中(音楽)	音楽用 低(音楽)	音声用 中
VOR	オフ	オフ	オフ	オフ
録音フィルター	NCF (Noise Cut)	オフ	オフ	オフ

録音モードを変更する

録音するファイルの録音モード(音質など)を設定できます。

録音設定
録音先フォルダ フォルダ作成
シーンセレクト
録音モード
内蔵マイク感度設定


- ① ホームメニュー → 「 各種設定」 → 「録音設定」 → 「録音モード」を選ぶ。
- ② お好みの項目を選び、決定する。

LPCMやMP3など、音質を選びます。音質が気になる場合は、LPCM 44.1kHz/16bit またはMP3 192kbpsをおすすめします。

内蔵マイク感度設定を変更する

内蔵マイクのマイク感度を設定できます。マイク感度を下げると周囲の音や遠くで聞こえる音が小さくなるため、ノイズが少なく録音されます。


録音設定
録音先フォルダ フォルダ作成
シーンセレクト
録音モード
内蔵マイク感度設定

- ① ホームメニュー → 「 各種設定」 → 「録音設定」 → 「内蔵マイク感度設定」を選ぶ。
- ② 「音声用」または「音楽用」を選び、決定する。
- ③ お好みの項目を選び、決定する。
▲または▼ボタンで「オート」(音声用のみ)、「高」、「中」または「低」を選択することができます。

フォーカス録音／ワイド録音を設定する

録音シーンや用途に合わせて、フォーカス録音またはワイド録音に設定します。

録音設定
フォルダ作成
シーンセレクト
録音モード
内蔵マイク感度設定
フォーカス／ワイド

- ① ホームメニュー → 「 各種設定」 → 「録音設定」 → 「フォーカス／ワイド」を選ぶ。
- ② 「オフ」*、「フォーカス」、「ワイド」からお好みの項目を選び、決定する。

* お買い上げ時の設定

以下の場合、フォーカス／ワイド録音の設定が無効になります。

- ・ マイク感度設定が「音楽用」または、「音声用」の「オート」に設定されているとき
- ・ 「外部入力設定」が「MIC IN」または「Audio IN」に設定されているとき

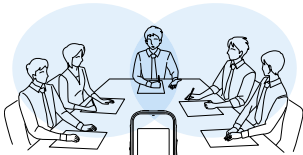
フォーカス録音



録音対象の両サイドの音を抑えることで、前方の音をしっかり録音。指向性が強く、狙った音にフォーカスできるので、講演会やセミナーなど広い会場での録音やインタビューに役立ちます。

シーンセレクト機能で「講演」を選択すると、フォーカス録音に設定されます。

ワイド録音



左右の定位を強調することで声の重なりを減らして、ステレオ感を向上。人の位置関係が明瞭になり誰の発言が分かりやすくなるので、聞き取りや書き取りが快適です。

シーンセレクト機能で「会議」を選択すると、ワイド録音に設定されます。

外部機器の入力モードと入力感度を設定する(外部入力設定)

🔊(マイク)ジャックから録音する際の外部入力の設定(「MIC IN」、「Audio IN」と、「MIC IN」の感度設定を行います。

録音設定
シーンセレクト
録音モード
内蔵マイク感度設定
フォーカス/ワイド
外部入力設定

- ① ホームメニュー → 「🗑️ 各種設定」 → 「録音設定」 → 「外部入力設定」を選ぶ。
- ② お好みの項目を選び、決定する。

MIC IN*	🔊(マイク)ジャックに外部マイクをつないだときに選びます。また、マイクの感度設定を「音声用」または「音楽用」から選択することができます。
Audio IN	🔊(マイク)ジャックにオーディオコードなど、外部マイク以外のものをつないだときに選びます。

* お買い上げ時の設定

ノイズを軽減して録音する(録音フィルター)

録音フィルターを設定するとノイズを軽減した録音ができます。

録音設定
録音モード
内蔵マイク感度設定
フォーカス/ワイド
外部入力設定
録音フィルター

ホームメニュー → 「🗑️ 各種設定」 → 「録音設定」 → 「録音フィルター」 → お好みの設定を選ぶ。

オフ	録音フィルターを解除します。
NCF (Noise Cut)	音声以外の周波数の音をカットします。「内蔵マイク感度設定」で「音楽用」を選択している場合は、無効になります。
LCF (Low Cut)	低い周波数の音をカットします。

録音情報を表示する

録音可能時間や録音先のメモリーやフォルダの設定などを表示します。

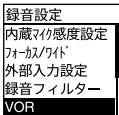
録音可能時間:
65h43m21s
録音先メモリー:
内蔵メモリー


録音停止中に、オプションメニュー → 「録音情報」を選ぶ。
録音停止中に■停止ボタンを押しても、録音情報を表示できます。

その他の方法で録音する

音がしたとき自動録音する(VOR録音)

VOR(Voice Operated Recording)録音は、ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音が一時的に停止する機能です。

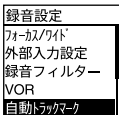




ホームメニュー → 「 各種設定」 → 「録音設定」 → 「VOR」 → 「オン」を選ぶ。

- ・ 「オン」を選んだあとに録音を開始してください。
- ・ VOR機能は周囲の環境に左右されます。状況に合わせてマイク感度を切り替えてください。
マイク感度を切り替えても思いどおりに録音できないときや、大切な録音をするときは、メニューで「VOR」を「オフ」に設定してください。

自動的にトラックマークを付ける

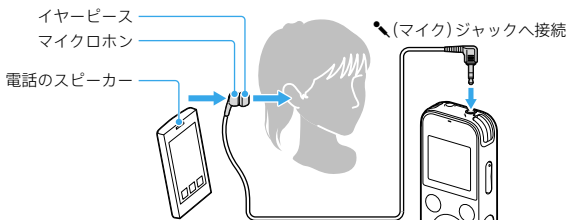
通常録音またはFMラジオ録音時にトラックマーク(57 ページ)をお好みの間隔で自動的に付けられます。



- ① ホームメニュー → 「 各種設定」 → 「録音設定」 → 「自動トラックマーク」を選ぶ。
FMラジオの場合は、ホームメニュー → 「 各種設定」 → 「FMラジオ設定」 → 「自動トラックマーク(FMラジオ)」を選ぶ。
- ② 「間隔設定」を選び、トラックマークを付ける間隔(5分、10分、15分、30分)を設定する。
設定が「オン」になります。

電話機や携帯電話の音声を録音する

別売りのECM-TL3を使うと、電話機や携帯電話での自分と相手の声を録音することができます。

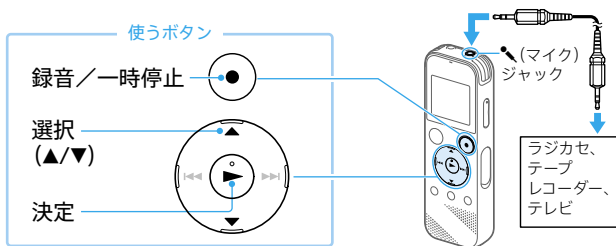


- ① ICレコーダーの(マイク)ジャックに別売りのECM-TL3をつなぐ。
- ② 録音停止中にホームメニュー → 「各種設定」 → 「録音設定」 → 「外部入力設定」 → 「MIC IN」を選ぶ。
- ③ 電話のスピーカーをECM-TL3のマイク部にあてる。

- ・ 録音する場合には、ICレコーダーと接続後、通話状態と録音レベルをご確認のうえ、ご使用ください。
- ・ 呼び出し音、発信音を録音した場合、会話が小さい音で録音されることがあります。そのような場合には、通話状態になってからICレコーダーを録音状態にしてください。
- ・ 電話機の種類、回線の状況によってVOR機能(30ページ)が動かないことがあります。
- ・ ICレコーダーを使って通話録音をしたとき、万一、これらの不都合により録音されなかった場合は、一切の責任を負いません。

他の機器の音声を録音する

ラジカセ、テープレコーダーなど、他の機器の音声／音楽をICレコーダーに録音することによって、パソコンを使わなくても、音楽ファイルを作成することができます。



- 1 他の機器の音声出力端子(ステレオミニジャック)を市販のオーディオコードを使って、ICレコーダーの(マイク)ジャックにつなぐ。

「外部入力設定」画面が表示されます。

- 2 「Audio IN」を選び、決定する。

外部入力設定
✓MIC IN
↳ 感度設定
Audio IN

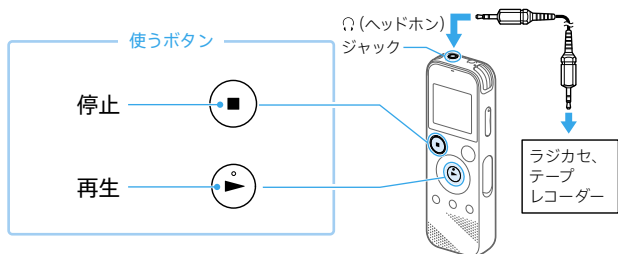
- 3 録音／一時停止ボタンを押す。
接続した機器からの音声の録音が始まり、「録音」が表示されます。

- 4 接続先の▶(再生)ボタンを押す。

- 5 録音を止めるには、■停止ボタンを押す。

入力レベルが適正ではない場合は、他の機器のヘッドホン端子(ステレオミニジャック)を使ってICレコーダーと接続し、ICレコーダーの録音レベルガイドを確認しながら、他の機器の音量を調節してください。

ICレコーダーの音を他の機器で録音する



- 1 ICレコーダーのΩ(ヘッドホン)ジャックと他の機器の外部入力端子を、市販のオーディオコードを使ってつなぐ。
- 2 録音したいファイルを選択して再生状態にし、同時に、つないだ機器を録音状態にする。
- 3 録音を止めるには、つないだ機器の録音を停止し、もう一度ICレコーダーの停止ボタンを押して再生を停止する。

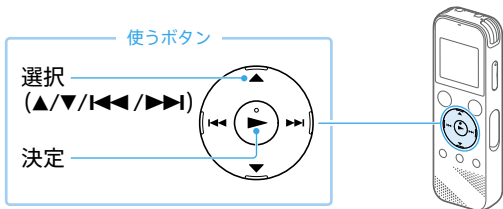



外部機器と接続するときは、抵抗なしオーディオコードをお使いください。

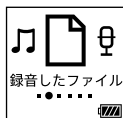
再生する

ICレコーダーで録音したファイルを再生する

お買い上げ時には、通常録音の録音先フォルダが「FOLDER01」に、FMラジオ録音の録音先が「RADIO01」に設定されています。

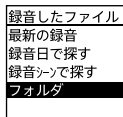


- 1 ホームメニュー (14ページ) で「 録音したファイル」を選び、決定する。



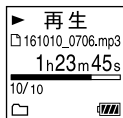
- 2 「フォルダ」→「内蔵メモリー」→「FOLDER01」または「RADIO01」を選び、決定する。


SDカードに保存した場合は、「フォルダ」→「SDカード」を選びます。



- 3 再生したいファイルを選び、決定する。

ファイルが再生されます。

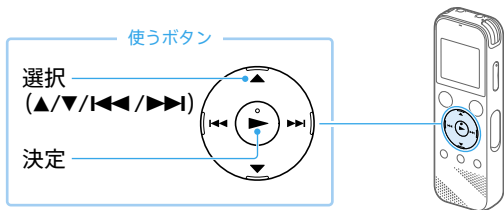


- 4 再生を止めるには、 停止ボタンを押す。

- ・「📁 録音したファイル」を選ぶと、ファイルの検索方法を選択する画面が表示されます。検索方法は、「最新の録音」、「録音日で探す」、「録音シーンで探す」、「フォルダ」のいずれかを選択できます。
- ・音量を調節するには、音量－／＋ボタンを押します。
- ・内蔵スピーカーは録音結果の簡易確認用のため、音声が小さかったり、聞きづらいことがあります。その場合は、別売りのヘッドホンを使用してください。

ICレコーダーに転送した音楽ファイルを再生する

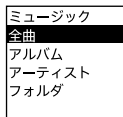
パソコンを使って音楽ファイルをICレコーダーに転送して再生する場合は、「IC RECORDER」または「MEMORY CARD」の「MUSIC」フォルダにファイルのアイコンをドラッグアンドドロップしてください。



- 1 ホームメニュー (14ページ) で「**♪ミュージック**」を選び、決定する。



- 2 ▲または▼ボタンを押して、「**全曲**」、「**アルバム**」、「**アーティスト**」または「**フォルダ**」を選び、決定する。



- 3 再生したいファイルを選び、決定する。
ファイルが再生されます。



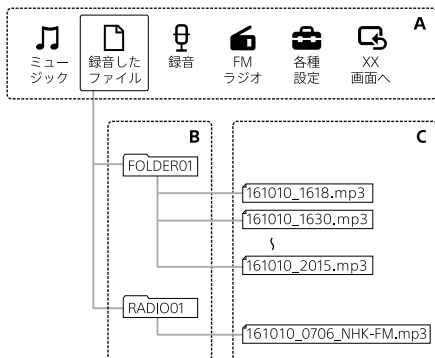
- 4 再生を止めるには、**■**停止ボタンを押す。

- ・ ICレコーダーで再生できるファイル形式は、74ページをご覧ください。
- ・ Sound Organizer 2を使って、ファイルを転送する場合は、別冊の「Sound Organizer 2を使う」の「Step5 ICレコーダーに転送しよう！」をご覧ください。

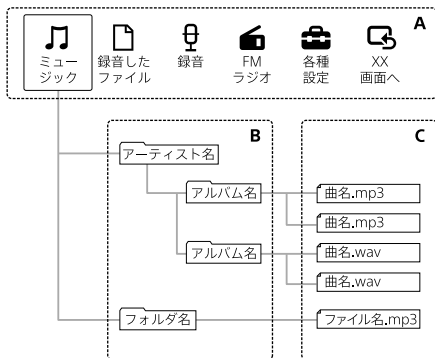
フォルダとファイルについて

ICレコーダー上で見えるフォルダとファイルの構成

「録音したファイル」の場合



「ミュージック」の場合

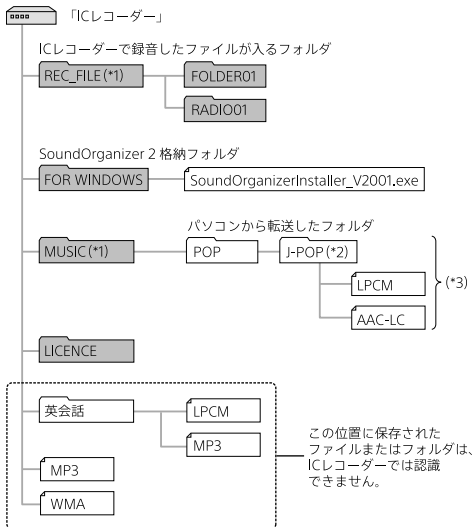



A: ホームメニュー B: フォルダ C: ファイル


パソコン上で見えるフォルダとファイルの構成

ICレコーダーをパソコンに接続すると、フォルダやファイルの構成をパソコンの画面で見ることができます。WindowsではExplorerを使って、MacではFinderを使って、「IC RECORDER」または「MEMORY CARD」を開くと、フォルダやファイルを表示できます。パソコンの画面で見ると、次の図のように表示されます。

内蔵メモリーの場合



*1 REC_FILEフォルダの中のファイルが、「 録音したファイル」に表示されるファイルです。

MUSICフォルダの中のファイルが、「 ミュージック」に表示されるファイルです。

ファイルを転送するときは、REC_FILEフォルダ内またはMUSICフォルダ内に入れてください。

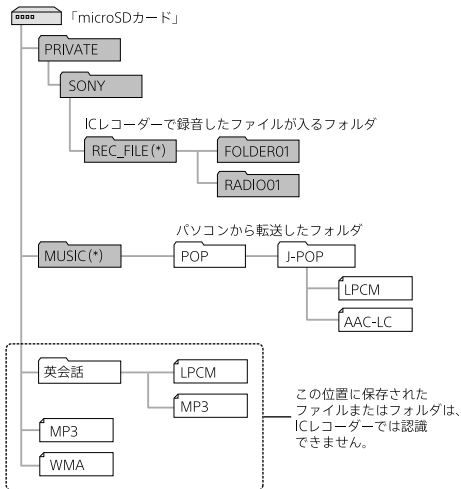
*2 音楽ファイルが保存されたフォルダ名はICレコーダーでも同じフォルダ名として表示されます。管理しやすいフォルダ名にしておくとう便利です。(図は、フォルダ名称の例です。)



*3 音楽ファイルを認識できるのは、ICレコーダーに転送したフォルダの8階層目までとなります。

- ・ パソコンにある音楽ファイルをICレコーダーに転送するときは、あらかじめタイトルやアーティストなどの情報を登録しておくことで便利です。
情報を登録すると、ICレコーダーで音楽ファイルの情報を表示したり、登録した情報から音楽ファイルを検索したりすることができます。
- ・ タイトル名が登録されていない場合は、ICレコーダーではファイル名が表示されません。

microSDカードの場合

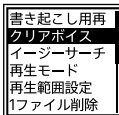
ファイルの保存先がmicroSDカードの場合、内蔵メモリーの場合とはフォルダの構成が異なります。



- * REC_FILEフォルダの中のファイルが、「 録音したファイル」に表示されるファイルです。
MUSICフォルダの中のファイルが、「 ミュージック」に表示されるファイルです。
ファイルを転送するときは、REC_FILEフォルダ内またはMUSICフォルダ内に入れてください。

雑音を低減して音声を聞きやすくする(クリアボイス)

録音したファイルの音声以外の周辺ノイズをカットするため、クリアな音質で再生できます。



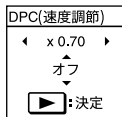
再生停止中／再生中に、オプションメニュー → 「クリアボイス」 → お好みの設定を選ぶ。

オフ	クリアボイス機能を解除します。
クリアボイス1	音声以外のノイズを低減し、声の大きさを自動調整して聞きやすいクリアな音になります。
クリアボイス2	「クリアボイス1」よりもさらに強いノイズ低減、音声の自動調整効果により、クリアな音質になります。

内蔵スピーカーで再生しているときや、「♪ミュージック」内のファイル再生時は、クリアボイス機能は働きません。

再生速度を調節する (DPC)

DPC (Digital Pitch Control) 機能を使うと、再生速度を0.25倍速から3.00倍速の間で調節できます。その際、音程はデジタル処理により、自然に近いレベルで再生されます。



- 再生停止中／再生中に、▲DPC(速度調節) ボタンを押す。
- ◀◀または▶▶ボタンを押し、再生速度を選択する(0.05倍速刻み(×0.25 ~ ×1.00)、または0.10倍速刻み(×1.00 ~ ×3.00))。
- ▲または▼ボタンを押して「オン」を選ぶ。

その他の方法で再生する

録音直後に再生する

録音を停止したあとに、録音停止画面で▶ボタンを押す。

再生中に早送り／早戻しする(キュー／レビュー)

再生停止中／再生中に、◀◀ (早戻し・レビュー) または▶▶ (早送り・キュー) ボタンを押したままにして、聞きたいところで離す。

最初は少しずつ早送り／早戻しされるので、1語分だけ戻したり、送ったりして聞きたいときに便利です。押し続けると、高速での早送り／早戻しになります。

聞きたいところをすばやく探す(イージーサーチ)

イージーサーチ機能を使うと、再生を開始したい場所をすばやく見つけることができます。

書き起こし用再 クリアボイス
イージーサーチ
再生モード
再生範囲設定
1ファイル削除

再生停止中／再生中に、オプションメニュー → 「イージーサーチ」 → 「オン」または「オフ」を選ぶ。

オフ	イージーサーチ機能を無効にします。
オン	イージーサーチ機能を有効にします。 再生中に▶▶ボタンを押すと10秒進み、◀◀ボタンを押すと3秒戻ります。

録音を書き起こす(書き起こし用再生)

書き起こし用再生機能を使うと、録音した1つのファイルを早送り／早戻ししながら聞きたい箇所を探せるので、議事録などを書き起こすときに便利です。書き起こし用再生中はファイルが繰り返し再生されます。



- ①再生停止中に、オプションメニュー → 「書き起こし用再生」を選ぶ。
- ②▶ ボタンを押して再生を開始する。

- ・書き起こし用再生中は動かない機能があります。詳しくはヘルプガイド(72ページ)をご覧ください。
- ・書き起こし用再生中または停止中に、オプションメニューから「書き起こし終了」を選ぶと、書き起こし用再生が終了して通常の再生になります。

必要な部分だけを再生する(A-Bリピート)

指定したA点とB点の区間を繰り返し再生します。



- ①再生停止中／再生中に、▼ ↻ A-Bボタンを押して、A点を指定する。
- ②もう一度▼ ↻ A-Bボタンを押して、B点を指定する。指定した区間が繰り返し再生されます。
- ③通常の再生に戻すには、▼ ↻ A-Bボタンをもう一度押す。

再生停止中、A点を指定したあと、同じ場所にB点を指定することはできません。この場合、A点がキャンセルされます。

簡単に1ファイルをリピート再生する(長押しリピート再生機能)

再生中に▶ ボタンを長押しするだけで、簡単に再生中のファイルをリピート再生することができます。機能を解除する場合は、▶ ボタンまたは■停止ボタンを押してください。

- ・再生モードを設定している場合でも、長押しリピート再生機能を使うことができます。
- ・A-Bリピート再生中は、長押しリピート再生機能を使うことができません。

再生モードを変える

用途に応じて、1ファイルのみの再生やリピート再生などの再生モードを選べます。

書き起こし用再
クリアボイス
イージーサーチ
再生モード
再生範囲設定
1ファイル削除

再生停止中／再生中に、オプションメニュー → 「再生モード」
→ お好みの設定を選ぶ。

ノーマル	再生範囲のファイルを順に再生します。
🔄 リピート	再生範囲のファイルを順に繰り返し再生します。
1 1ファイル再生	再生中または再生を始めたファイルだけを再生します。
🔄1 1ファイルリピート	再生中または再生を始めたファイルを繰り返し再生します。
🎲 シャッフル	再生範囲の曲を順不同に再生します。
🔄🎲 シャッフルリピート	再生範囲の曲を順不同に繰り返し再生します。

再生範囲を指定する

「📁 録音したファイル」からファイルの検索方法(「最新の録音」、「録音日で探す」、「録音シーンで探す」、「フォルダ」)を選択して、表示された再生リストの中から再生する範囲を指定できます。

書き起こし用再
クリアボイス
イージーサーチ
再生モード
再生範囲設定
1ファイル削除

- ①再生停止中／再生中に、オプションメニュー→「再生範囲設定」を選ぶ。
- ②「全範囲を再生」または「選択範囲内を再生」から選ぶ。

全範囲を再生	録音したファイルの再生、ミュージック再生で選んだ検索方法の対象となるファイルをすべて再生します。
📁 選択範囲内を再生	再生中のファイルを含むフォルダ(録音日、録音シーン、アーティスト、アルバムなど)の中のファイルを再生します。

ファイル情報を表示する

ICレコーダーで録音したファイルの情報(ファイルの長さや録音モード、作成日時など)を確認できます。



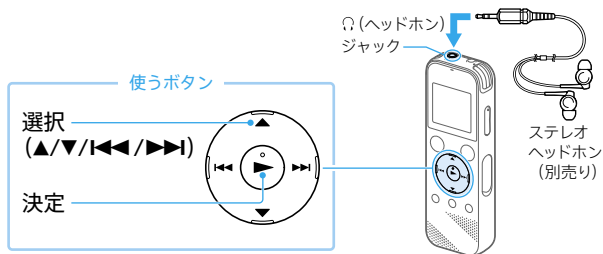
- ① 停止中に、オプションメニュー → 「ファイル情報」を選ぶ。
- ② ▲または▼ボタンを押して情報を切り替える。

ファイル情報として表示される項目について、詳しくはヘルプガイド(72ページ)をご覧ください。

FMラジオを聞く

ヘッドホンをつないでFM放送を聞きます。

ヘッドホンがFMアンテナの役割をします。♯(ヘッドホン)ジャックにつなぎ、できるだけ長くのばしてお使いください。内蔵スピーカーで聞くとときも、ヘッドホンをつないでお使いください。



1 別売りのヘッドホンを♯(ヘッドホン)ジャックにつなぐ。

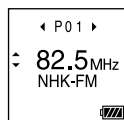
2 ホームメニュー(14 ページ)で「FMラジオ」を選び、決定する。

初めてお使いになるときは、画面に従って地域設定をしてください。



3 受信したい地域を選び、決定する。

4 登録されている放送局を選ぶ(プリセット放送局)。



5 FMラジオを止めるには■停止ボタンを押す。

地域一覧

エリア	地域
北海道	北海道(札幌) 北海道(函館) 北海道(旭川) 北海道(帯広) 北海道(釧路) 北海道(北見) 北海道(室蘭)
東北	青森 岩手 秋田 宮城 山形 福島
関東	埼玉 千葉 東京 神奈川 茨城 栃木 群馬
中部	山梨 長野 静岡
東海	愛知 岐阜 三重
北陸	新潟 富山 石川 福井
近畿	大阪 京都 兵庫 滋賀 奈良 和歌山
中国	鳥取 島根 岡山 広島 山口
四国	徳島 香川 愛媛 高知
九州	福岡(福岡) 福岡(北九州) 佐賀 長崎 大分 熊本 宮崎 鹿児島 沖縄

各地域設定で登録される放送局名については、ヘルプガイド(72ページ)をご覧ください。

ワイドFM (FM補完放送)を受信する

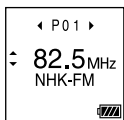
ワイドFM(FM補完放送)を受信したい場合は、地域設定で受信したい地域を選び、登録されている放送局を選んでください。

登録されていない放送局を選ぶ場合は、マニュアルスキャンまたはオートスキャンで選局してください(48ページ)。

ワイドFM(FM補完放送)とは、AM(中波)の放送区域での難聴対策や災害対策のために、FM(超短波)の周波数を利用して放送されるAM放送です。AMラジオの番組をFM放送の周波数で聞けるため、ビルやマンションなどのAM放送が入りづらい場所でも、クリアな音質でAMラジオの番組を楽しめます。

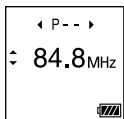
プリセット登録されている放送局から選局する(プリセット選局)

FMラジオ放送局がプリセット登録されているときは、プリセット番号で選局できます。



- ① ホームメニュー(14 ページ)で「FMラジオ」を選ぶ。
- ② お好みの放送局のプリセット(P)番号が表示されるまで、**◀◀**または**▶▶**ボタンを繰り返し押し続けて選局する。
受信している周波数に放送局名が登録されている場合は、放送局名が表示されます。

放送局を周波数で選局する(マニュアルスキャン選局)



- ① ホームメニュー(14 ページ)で「FMラジオ」を選ぶ。
- ② **▲**または**▼**ボタンを繰り返し押し続けて選局する。
ワイドFM(FM補完放送)を受信している場合は、放送局名が表示されない場合があります。

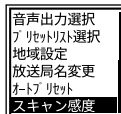
オートスキャン選局するには

手順2で、**▲**または**▼**ボタンを画面上の周波数が変わり始めるまで長押しすると、周波数をスキャンし、放送を受信すると自動的に停止します。

放送を受信できない場合は、**▲**または**▼**ボタンを1回ずつ繰り返し押し続けてください。

スキャン感度を切り換える

プリセット時のスキャン感度を設定できます。



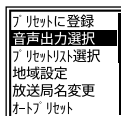
- ① FMラジオ受信中にオプションメニュー → 「スキャン感度」を選ぶ。
- ② 「高 (SCAN H)」または「低 (SCAN L)」を選ぶ。

高 (SCAN H) *	スキャン感度を高くします。
低 (SCAN L)	スキャン感度を低くします。

* お買い上げ時の設定

音声の出力先を切り換える

FMラジオ受信中あるいはFMラジオ録音中に、メニューで音声の出力先を内蔵スピーカーあるいは別売りのヘッドホンへ切り換えることができます。




- ① FMラジオ受信中またはFMラジオ録音中にオプションメニュー → 「音声出力選択」を選ぶ。
- ② 「ヘッドホン」または「スピーカー」を選ぶ。

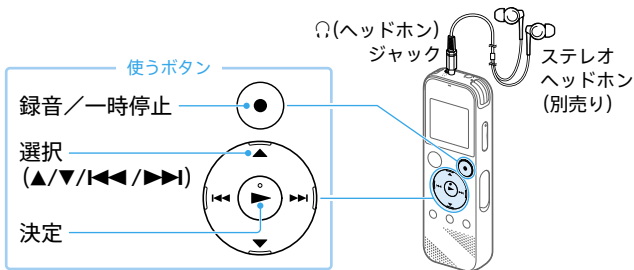
ヘッドホン*	音声はヘッドホンから出力されます。
スピーカー	音声は内蔵スピーカーから出力されます。

* お買い上げ時の設定

ヘッドホンがFMアンテナの役割をします。内蔵スピーカーで聞くとときも、ヘッドホンをつないでお使いください。

FMラジオ放送を録音する

録音したFMラジオのファイルは、お買い上げ時の設定では「 録音したファイル」の「RADIO01」フォルダに保存されます。



- 1 別売りのヘッドホンを○(ヘッドホン)ジャックにつなぐ。
- 2 録音したい放送局を選局する。
プリセット選局、マニュアルスキャン選局、またはオートスキャン選局のいずれかの方法で選局します。
- 3 録音／一時停止ボタンを押す。
録音が始まります。



- 4 録音を止めるには、■停止ボタンを押す。


- ・ FMラジオ録音中は、シーンセレクト、内蔵マイク感度の設定、録音フィルター機能、VOR機能は働きません。
- ・ ファイルは、録音開始日時に放送局名と録音モードの拡張子が付いたもの（例：161030_0706_NHK-FM.mp3）がファイル名となります。

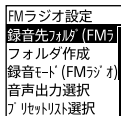
FMラジオの設定を変更する


FMラジオの受信や録音に関する設定を変更します。

録音先フォルダを変更する

FMラジオの録音先フォルダを変更できます。


お買い上げ時の設定では、「 録音したファイル」の「RADIO01」フォルダ内に録音されます。



- ① ホームメニュー → 「 各種設定」 → 「FMラジオ設定」 → 「録音先フォルダ (FMラジオ)」 を選ぶ。
- ② 「メモリー選択」 で 「内蔵メモリー」 または 「SDカード」 を選び、フォルダを指定する。

録音モードを変更する

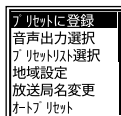
FMラジオの録音モードを変更できます。


ホームメニュー → 「 各種設定」 → 「FMラジオ設定」 → 「録音モード (FMラジオ)」 を選び、お好みの録音モードを選びます。

- ・ MP3 192kbps / MP3 128kbps / MP3 48kbps (MONO) から選択できます。
お買い上げ時は「MP3 192kbps」に設定されています。
- ・ FMラジオ放送は、LPCMで録音できません。

手動でプリセット登録する

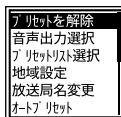
プリセットリストに登録されていないFMラジオ放送局をプリセット登録できます。



- ① ホームメニュー (14 ページ) → 「 FMラジオ」 を選ぶ。
- ② プリセット登録したい放送局を選局する。
新たにプリセット登録できる放送局は、「P--」と表示されません。
- ③ オプションメニュー → 「プリセットに登録」 を選ぶ。
放送局がプリセット登録されます。

プリセット登録を解除する

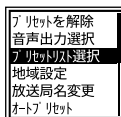
プリセットリストに登録されているFMラジオ放送局のプリセット登録を解除できます。



- ① ホームメニュー (14 ページ) → 「FMラジオ」を選び、決定する。
- ② 登録を解除したい放送局のプリセット (P) 番号が表示されるまで、◀◀または▶▶ボタンを繰り返し押し続けて選局する。
- ③ オプションメニュー → 「プリセットを解除」を選ぶ。
プリセット番号が「P--」へ変わります。

プリセットした地域設定を切り換える(プリセットリスト選択)

プリセットリストに登録した地域設定を選んで、お使いになる地域の放送局を受信できます。

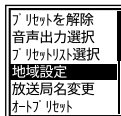


- ① FMラジオ受信中にオプションメニュー → 「プリセットリスト選択」を選ぶ。
- ② お好みのプリセット地域を選ぶ。

地域を指定して登録する(地域設定)

ICレコーダーでは、3つのプリセットリストに受信する地域を登録し、切り換えて使用できます。

お住まいの地域のほかに出張や旅行などで訪れる地域の設定をしておく、設定した地域に移動した際、簡単にその地域のラジオ局を受信できます。地域設定画面はお買い上げ後、初めてFMラジオをお使いになるときに表示されますが、メニューからも選ぶことができます。

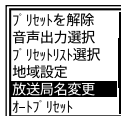


- ① FMラジオ受信中にオプションメニュー → 「地域設定」を選ぶ。
- ② お好みの地域を選ぶ。
プリセットリストの上書きを確認するメッセージが表示されます。
- ③ 「はい」を選ぶ。

新たに地域を登録したい場合は、あらかじめ「プリセットリスト選択」で「地域未設定」を選択してから、地域設定を行ってください。

放送局名を変更する(放送局名変更)

地域設定がされていると、プリセット登録した放送局に対して、放送局名を変更できます。

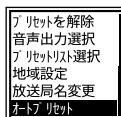


- ① FMラジオ受信中にオプションメニュー → 「放送局名変更」を選ぶ。
- ② 放送局名を選ぶ。

- ・ 放送局を表示したくない場合は、手順2で「設定なし」を選びます。
- ・ 選択したプリセットリストが地域設定されていない場合は、操作できません。

自動でプリセット登録する(オートプリセット)

現在選択しているプリセットリストの地域で受信できるFMラジオ放送局を検出し、プリセット番号に自動で登録できます。最大30件まで登録できます。

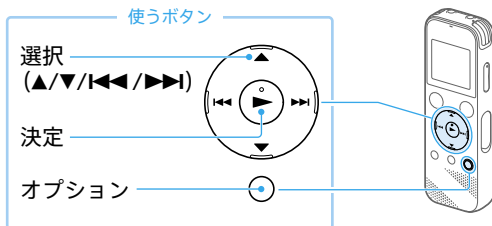


- ① FMラジオ受信中にオプションメニュー → 「オートプリセット」を選ぶ。
プリセットの上書きを確認するメッセージが表示されません。
- ② 「はい」を選ぶ。
受信可能な放送局をスキャンし、プリセット番号に低い周波数から高い周波数へ順に自動登録します。
オートプリセット実行中、登録予定のプリセット番号が点滅します。

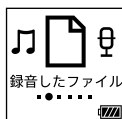
- ・ すでにプリセット登録されているFMラジオ放送局がある場合、プリセットが上書きされます。
- ・ 設定途中でオートプリセットをやめるには、手順2で「いいえ」を選びます。

編集する

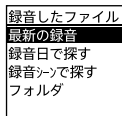
ファイルを削除する



- 1 ホームメニュー(14 ページ)で「 録音したファイル」または「 ミュージック」を選び、決定する。



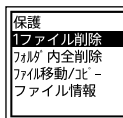
- 2 選択ボタンを押してファイルを検索する方法を選ぶ。
「フォルダ」を選んだ場合は、ファイルの保存先のメモリを選んで決定します。



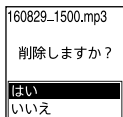
- 3 削除したいファイルを選ぶ。




- 4 オプションボタンを押し、オプションメニュー(16 ページ)から「1ファイル削除」、「リスト内全削除」または「フォルダ内全削除」を選ぶ。



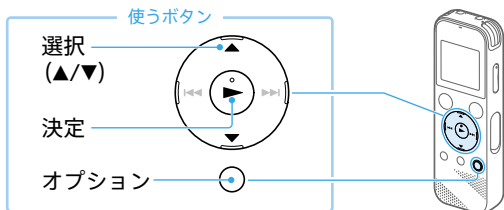
- 5 「はい」を選び、決定する。



- ・一度削除したファイルはもとに戻すことはできません。
- ・保護設定されているファイルは、削除できません。保護設定を解除してから操作してください(56 ページ)。
- ・手順1で「 録音したファイル」を選び、フォルダ選択画面でオプションメニューから「フォルダ削除」を選ぶと、選んだフォルダとフォルダの中身を一度に削除できます。ただし、フォルダ内にサブフォルダが存在する場合は、サブフォルダと中に保存されているファイルは削除されません。

ファイルを保護する

大事なファイルを間違って削除、編集することがないように保護できます。



- 1 再生停止中にオプションボタンを押し、「保護」を選ぶ。

クリアボイス
イージーサーチ
再生モード
再生範囲設定
1ファイル削除
保護

- 2 保護を解除するには、保護されたファイルを選んでオプションボタンを押し、「保護解除」を選ぶ。

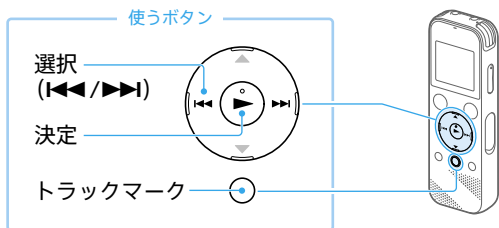
クリアボイス
イージーサーチ
再生モード
再生範囲設定
1ファイル削除
保護解除

保護されたファイルは、再生画面で🔒(保護)マークが表示されます。

トラックマークを使う

トラックマークを付ける

再生時の頭出しや、分割位置の目安として利用するために、トラックマークを付けることができます。1つのファイルに98個まで設定できます。



- 1 録音中／再生中／録音一時停止中／再生停止中に、トラックマークを付けたい場所でトラックマークボタンを押す。

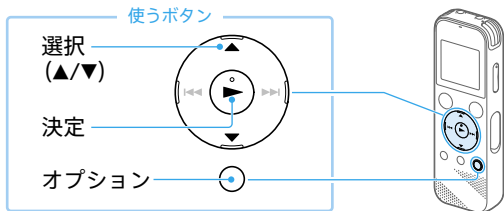
トラックマークが設定されます。



- ・ 保護設定されているファイルは、トラックマークが付けられません。保護設定を解除してから操作してください(56 ページ)。
- ・ トラックマークを付けた位置を探して聞くには、停止中／再生中に、選択ボタンを押します。
- ・ 録音中に指定した間隔で自動的にトラックマークが付けられます(30 ページ)。

トラックマークを削除する

現在位置のトラックマークやすべてのトラックマークを削除します。

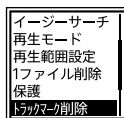


- 1 現在位置のトラックマークを削除する場合は、ファイルを選び削除したいトラックマーク位置の後に停止する。

すべてのトラックマークを削除する場合は、ファイルを選ぶ。

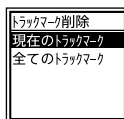


- 2 オプションボタンを押し、「トラックマーク削除」を選ぶ。



- 3 「現在のトラックマーク」または「全てのトラックマーク」→「はい」を選ぶ。

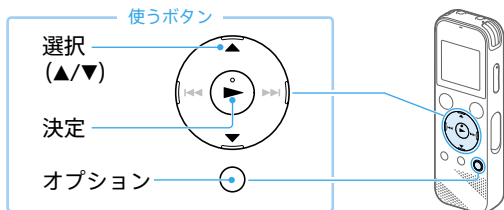
「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、トラックマークが削除されます。



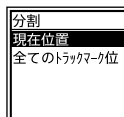
- ・ 保護設定されているファイルは、トラックマークを削除できません。保護設定を解除してから操作してください (56 ページ)。
- ・ 録音停止画面では、トラックマークを削除できません。ホームメニューを表示して、トラックマークを削除したいファイルを選んでから操作してください。

ファイルを分割する

選んでいる位置やトラックマーク位置でファイルを分割できます。



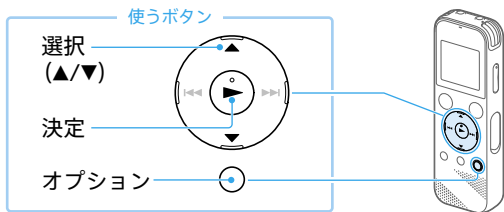
- 1 分割したいファイルを選び、位置を指定する場合は、分割したい位置で再生を停止する。
トラックマーク位置で分割する場合は、分割したいファイルを選ぶ。
- 2 オプションボタンを押し、「分割」→「現在位置」または「全てのトラックマーク位置」を選ぶ。
- 3 確認画面で「はい」を選ぶ。
分割されたファイルは、末尾に「_01」、「_02」というように連番が振られます。



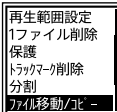
- ・ 保護設定されているファイルは、分割できません。保護設定を解除してから操作してください(56 ページ)。
- ・ ファイルの先頭や終端から近い位置にあるトラックマークは、分割されずにファイルに残る場合があります。

フォルダ内のファイルを整理する (ファイル移動/ファイルコピー)

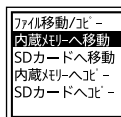
選んだファイルをお好みのフォルダに移動またはコピーできます。



- 1 再生停止中にオプションボタンを押し、「ファイル移動/コピー」を選ぶ。



- 2 移動先またはコピー先を選び、選択する。



- 3 フォルダを選び、選択する。
「しばらくお待ちください」と表示され、移動先/コピー先フォルダにファイルを移動/コピーします。




- ・「♪ミュージック」内のファイルは、移動またはコピーできません。
- ・保護設定されているファイルは、移動できません。保護設定を解除してから操作してください(56 ページ)。
- ・移動すると、もとのフォルダからそのファイルはなくなります。
- ・コピーすると、ファイルは同じファイル名でコピーされます。

各種設定を変更する

動作表示ランプの点灯・消灯を設定する(ランプ)


「オン」に設定すると動作中に動作表示ランプが点灯・点滅します。

共通設定
ランプ
操作音
時計設定
オートパワーオフ
各種初期化

ホームメニュー → 「 各種設定」 → 「共通設定」 → 「ランプ」 → 「オン」または「オフ」を選ぶ。


操作音の設定をする(操作音)

共通設定
ランプ
操作音
時計設定
オートパワーオフ
各種初期化

ホームメニュー → 「 各種設定」 → 「共通設定」 → 「操作音」 → 「オン」または「オフ」を選ぶ。

時計を合わせる

時計設定
日付時刻設定
時刻表示形式


- ① ホームメニュー → 「 各種設定」 → 「共通設定」 → 「時計設定」 → 「日付時刻設定」を選ぶ。
- ② ▲または▼ボタンを押して年の数字(西暦)を選び、▶ボタンを押す。
- ③ 同じ手順で、月、日、時、分の順に設定する。
戻る／ホーム(長押し)ボタンを押すと、カーソルが1つ前の項目に戻ります。
「分」の数字を選んで▶ボタンを押すと、設定が時計に反映されます。

電池を入れ直したり、新しい電池に取り換えたりしたときは、時計設定の画面が表示され、電池を取り外す前に最後にICレコーダーを操作した日時が表示されます。現在の日時を設定し直してください。

時刻表示の形式を選ぶ

24時間表示と12時間表示を切り替えます。


時計設定
日付時刻設定
時刻表示形式

ホームメニュー → 「 各種設定」 → 「共通設定」 → 「時計設定」 → 「時刻表示形式」 → 「12時間」または「24時間」を選ぶ。

メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻す(設定初期化)

メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

各種初期化
設定初期化
内蔵メモリ初期化
SDカード初期化


- ① 録音停止中または再生停止中にホームメニュー → 「 各種設定」 → 「共通設定」 → 「各種初期化」 → 「設定初期化」を選ぶ。
- ② 確認画面で「はい」を選ぶ。

「時計設定」、「地域設定」、「プリセットリスト」、「放送局名変更」については初期化されません。

データを初期化する(内蔵メモリ初期化/SDカード初期化)

内蔵メモリまたはmicroSDカード内すべてのデータを削除し、フォルダ構成を初期状態に戻します。

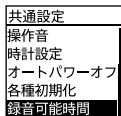
各種初期化
設定初期化
内蔵メモリ初期化
SDカード初期化


- ① 録音停止中または再生停止中にホームメニュー → 「 各種設定」 → 「共通設定」 → 「各種初期化」 → 「内蔵メモリ初期化」または「SDカード初期化」を選ぶ。
- ② 確認画面で「はい」を選ぶ。

- ・ 内蔵メモリまたはmicroSDカードを初期化すると、保存されていたすべてのデータが削除されます。(保護したファイルやSound Organizer 2も削除されます。)一度削除した内容はもとに戻すことはできません。ご注意ください。
- ・ Sound Organizer 2は、ICレコーダー サポート ・ お問い合わせページからダウンロードできます。詳しくは、「Sound Organizer 2を使う」(別冊)をご覧ください。

録音可能時間を確認する

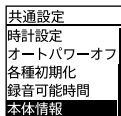
録音可能な残り時間を表示します。




ホームメニュー → 「 各種設定」 → 「共通設定」 → 「録音可能時間」を選ぶ。

本体情報を確認する

本体の型名、本体のソフトウェアのバージョンを表示します。



ホームメニュー → 「 各種設定」 → 「共通設定」 → 「本体情報」を選ぶ。

パソコンを活用する

ICレコーダーとパソコンを接続すると、以下のような便利な機能が使えます。パソコンに必要なシステム構成については、65ページ、またはヘルプガイド(72ページ)をご覧ください。

Sound Organizer 2でファイルを管理・編集する (「Sound Organizer 2を使う」(別冊))

ソフトウェアSound Organizer 2を使って、ICレコーダーで録音したファイルをパソコンに取り込んで管理・編集したり、パソコンに保存されている音楽ファイルをICレコーダーに転送したりできます。

本機種は、Sound Organizer 1.6と接続することはできません。

Sound Organizer 1.6をお使いの方も、必ずSound Organizer 2をインストールしてお使いください。

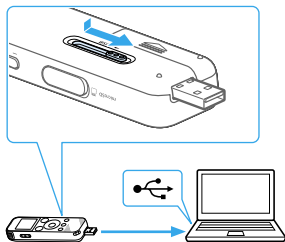
USBメモリーとして利用する

パソコンに保存されている画像やテキストファイルなどを一時的に保存できます。

ICレコーダーをパソコンに接続する

ICレコーダーとパソコンでファイルをやり取りするためには、ICレコーダーをパソコンに接続します。

- 1 USBつまみを押しながら、USB端子がロックするまで矢印の方向にスライドする。



- 2 起動しているパソコンのUSBポートに接続する。

USB端子を収納するときは、USBつまみを押しながら逆方向にスライドしてください。

必要なシステム構成

パソコンと接続する場合や、USBメモリーとして使う場合に必要なシステム構成は以下の通りです。

Sound Organizer 2をお使いの場合は、「Sound Organizer 2を使う」(別冊)またはヘルプガイド(72 ページ)をご覧ください。

OS

- Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 7 (Service Pack1以降)
- macOS (v10.11 ~ v10.14)

■ ご注意

- ・上記のOSがパソコン工場出荷時にインストールされている必要があります。アップグレードした場合や、マルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。
- ・最新の対応OSについては、90ページに記載のICレコーダー サポート・お問い合わせページをご覧ください。

以下の性能を満たしたWindowsコンピューターまたはMac

- サウンドボード：各OSに対応したもの
- USBポート
- ディスクドライブ：音楽CDを作成する場合はCD-R/RWドライブが必要です。

■ ご注意

推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。また、自作パソコンなどへお客様自身がインストールしたものや、アップグレードしたもの、マルチブート環境、マルチモニタ環境での動作保証はいたしません。

困ったときは

修理を依頼される前に、もう一度下記項目をチェックしてみてください。

「症状から調べる」(67ページ)の各項目で調べる。

パソコンを利用できる場合

- ヘルプガイドで調べる(72ページ)
- ICレコーダー「サポート・お問い合わせ」のホームページで調べる(90ページ)
- Sound Organizer 2のヘルプで調べる
(「Sound Organizer 2を使う」(別冊))

電池を入れ直す。

電池を入れ直すと問題が解決することがあります。

上記を確認しても問題が解決しないときは、ソニーの相談窓口(91ページ)またはお買い上げ店に相談する。

修理に出すと、録音した内容が消えることがあります。ご了承ください。

症状から調べる

ノイズ

ノイズが多く聞き取りにくい。

- 音声以外の周囲音が録音されてしまうことがあります。
再生時に、クリアボイス機能を「クリアボイス1」または「クリアボイス2」に設定すると、プロジェクターや空調などの音声以外の周辺ノイズをカットします(40ページ)。全帯域のノイズを低減するため、人の声をクリアな音質で再生できます。
ただし、内蔵スピーカーで再生しているときや、「♪ミュージック」内のファイル再生時は、クリアボイス機能は働きません。

ノイズを少なく録音したい。

- 録音フィルター機能の[NCF(Noise Cut)]または,[LCF(Low Cut)]を選択すると、ノイズを軽減した録音ができます(29ページ)。
また、シーンセレクト機能を使うと、さまざまな録音シーンに合わせて、録音モードやマイク感度などの録音に必要な項目を、一括でおすすめの設定に切り替えることができます(24ページ)。

録音

カサカサという音が録音されている。

- 録音したとき、ICレコーダーに手などがあたってたり、衣服とこすれたりすると雑音が録音されることがあります。
録音が終わるまでは、なるべく本体に触れないようにしてください。

ジリジリという音が録音されている。

- 録音中や再生中にICレコーダーを電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
ICレコーダーを離して録音してください。

録音が途中で止まる。

- VORが作動しています。VORを使用しないときは、メニューで「オフ」にしてください(30ページ)。

電源

電源が入らない、または操作ボタンを押しても動作しない。

- 電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。
- 電池の＋と－の向きが正しいか確認してください。(8ページ)
- 電源がオフになっています。画面が表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせると、電源が入ります(8ページ)。
- ホールドがオンになっています。ホールド・電源スイッチを中央位置にスライドさせてください(12ページ)。

電源が自動的に切れる。

- 停止状態で操作をしないまま放置していると、オートパワーオフ機能が働きます。(お買い上げ時の設定は10分になっています。)メニューでオートパワーオフの設定を変更すると、電源オフまでの時間を変更できます(12ページ)。

電池の持続時間が短い。

- 77ページの電池の持続時間は目安です。使用条件によって短くなる場合があります。
- 使用しない場合でも、わずかですが電池を消耗します。長い間お使いにならない場合は、電源を切る(9ページ)か、電池を外しておくことをおすすめします。また、オートパワーオフの設定時間(12ページ)を短くしておく、切り忘れでの電池の消耗を抑えることができます。
- 5℃以下の環境で使用しています。電池の特性によるもので故障ではありません。
- マンガン電池を使用しています。ICレコーダーには、マンガン電池はお使いになれません。

再生

再生音量が小さい。

- 内蔵スピーカーは録音結果の簡易確認用のため、音声が小さかったり、聞きづらいことがあります。その場合は、別売りのヘッドホンを使用してください。
- 録音されている音量が小さい場合があります。録音時に、マイク感度の設定や、「シーンセレクト」で用途に合わせた録音シーンを選んでいるかを確認してください(24ページ)。

再生スピードが速すぎたり遅すぎたりする。

- DPC(速度調節)の設定が「オン」になっているため、調節した再生スピードで再生されています。DPC(速度調節)の設定を「オフ」にすると、通常で再生されます。または、DPC(速度調節)の設定で再生スピードを調節してください(40ページ)。

内蔵スピーカーから音が出ない。

- ヘッドホンをつないでいます。ヘッドホンを抜いてください。

- FMラジオ受信中に、メニューの「音声出力選択」が「ヘッドホン」に設定されています。「スピーカー」に切り換えてください(49ページ)。

ヘッドホンをつないでいても、内蔵スピーカーから音が出る。

- 別売りのヘッドホンを差し込むとき、最後まで差し込まないと内蔵スピーカーからも音が聞こえてしまうことがあります。いったんヘッドホンを抜いて、最後までしっかり差し込んでください。
- FMラジオ受信中に、メニューの「音声出力選択」が「スピーカー」に設定されています。「ヘッドホン」に切り換えてください(49ページ)。

編集

ファイルを分割できない。

- メモリーに一定の空き容量がありません。
- システムの制約により、ファイルのはじめと終わりでファイル分割できないことがあります。
- ICレコーダーで録音されたファイル以外(パソコンから転送したファイル)は、分割できません。

作成したフォルダやファイルが見えない。

- パソコン上でフォルダやファイルを作成した場合、作成した場所によっては、ICレコーダーで認識できない場合があります。詳しくは38ページをご覧ください。

表示

録音日時表示が「----/--/--」または「--:--」になる。

- ICD-PX470F以外の機種で録音したファイルは、録音日時の記録方法が異なるため、録音日時が表示されない場合があります。

ファイル

「メモリーが一杯です」のメッセージが表示され、録音できない。

- メモリーがいっぱいになっています。不要なファイルを削除する(54ページ)か、別のmicroSDカードもしくはパソコンに保存してから、ファイルを削除してください。

「ファイルが一杯です」のメッセージが表示され、操作できない。

- 内蔵メモリーおよびmicroSDカード内のフォルダとファイルの総数が5,000件を超えた場合、録音やファイルコピーはできません。不要なファイルを削除するか、別のmicroSDカードもしくはパソコンに保存してから、ファイルを削除してください。

パソコン

パソコンで認識しない。

パソコンからフォルダ、ファイルが転送できない。

- パソコンからICレコーダーを取り外し、再度接続してください。
- 別売りのUSBハブ、またはUSB延長ケーブルをお使いの場合は、ICレコーダーを直接接続してください。
- ICレコーダーが対応しているシステム構成(65ページ)以外では、動作保証はいたしかねます。
- お使いのパソコンのUSBポートの位置によっては、認識できないことがあります。別のUSBポートに接続してください。

FMラジオ

内蔵スピーカーから音が出ない。

- FMラジオ受信中に、メニューの「音声出力選択」が「ヘッドホン」に設定されています。「音声出力選択」を「スピーカー」にしてください(49ページ)。

ヘッドホン(別売り)をつないでいても、内蔵スピーカーから音が出る。

- FMラジオ受信中に、メニューの「音声出力選択」が「スピーカー」に設定されています。「音声出力選択」を「ヘッドホン」にしてください(49ページ)。

FMラジオ受信中、音声小さい、または音質がよくない。

- テレビから離してお使いください。

FMラジオ受信中、テレビの画像が乱れる。

- 室内アンテナを使用しているテレビの近くでFMラジオ受信中は、テレビから離れてください。

FMラジオの放送局を受信できない、雑音聞こえる。

- ヘッドホン(別売り)をつないでいません。ヘッドホンがFMアンテナの役割をします。ヘッドホンをⓂ(ヘッドホン)ジャックにつなぎ、コードをのぼしてください。

FMラジオ放送がプリセット登録できない。

- FMラジオ放送局が30件登録されています。プリセット登録を解除してください(52ページ)。
- メニューの「スキャン感度」が「低(SCAN L)」に設定されています。「スキャン感度」設定を「高(SCAN H)」にしてください(49ページ)。

サポートページ／ヘルプガイドについて

サポートホームページで調べる

パソコンをインターネットに接続できる環境の場合、ICレコーダー「サポート・お問い合わせ」のホームページ (<http://www.sony.jp/support/ic-recorder/>) でトラブルの解決方法や最新情報などを調べることができます。

サポートホームページでは、以下の情報などを見ることができます。

- Q&A (よくある問い合わせ情報)
- ソフトウェアアップデートなどの最新情報
- 製品別サポート情報
- Sound Organizer 2のソフトウェアの使いかた
- 重要なお知らせ(サポートからの重要なお知らせ)
- 製品登録(製品登録へのご案内)
- Sound Organizer 2やヘルプガイドのダウンロードサービス

ヘルプガイドで調べる

ヘルプガイドは、ヘルプガイドページ (<http://rd1.sony.net/help/icd/p47/ja/>) で見ることができます。



保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

ソニーの相談窓口(91ページ)、お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではICレコーダーの補修・性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

その他

主な仕様

ICレコーダーの仕様

容量*1*2 (ユーザー使用可能領域)	4 GB(約3.20 GB = 3,435,973,837 Byte)
最大録音ファイル数 (1フォルダ内)	199ファイル
最大ファイル数	5,000ファイル (フォルダ数を含む)
周波数範囲	<ul style="list-style-type: none">• LPCM 44.1 kHz/16 bit: 50 Hz ~ 20,000 Hz• MP3 192 kbps: 50 Hz ~ 20,000 Hz• MP3 128 kbps: 50 Hz ~ 16,000 Hz• MP3 48 kbps (MONO): 50 Hz ~ 14,000 Hz
対応ファイルフォーマット	MP3 *3*4 <ul style="list-style-type: none">• ビットレート: 32 kbps ~ 320 kbps、 可変ビットレート (VBR) 対応• サンプリング周波数: 16/22.05/24/32/44.1/48 kHz• 拡張子: .mp3
	WMA *3*5*6 <ul style="list-style-type: none">• ビットレート: 32 kbps ~ 192 kbps、 可変ビットレート (VBR) 対応• サンプリング周波数: 44.1 kHz• 拡張子: .wma
	AAC-LC *3*6 <ul style="list-style-type: none">• ビットレート: 16 kbps ~ 320 kbps、 可変ビットレート (VBR) 対応• サンプリング周波数: 11.025/12/16/22.05/24/32/ 44.1/48 kHz• 拡張子: .m4a
	LPCM *3 <ul style="list-style-type: none">• 量子化ビット数: 16 ビット• サンプリング周波数: 44.1 kHz• 拡張子: .wav
FMラジオ受信周波数	76.0 MHz ~ 108.0 MHz IF 128 kHz
FMアンテナ	ステレオヘッドホンコードアンテナ(別売り)
内蔵スピーカー	直径20 mm

入・出力端子	<ul style="list-style-type: none"> 外部入力(ステレオミニジャック) プラグインパワー対応 最小入力レベル: 1.0 mV ヘッドホン(ステレオミニジャック) 推奨負荷インピーダンス: 16 Ω USB端子(USB Type-A端子) High-Speed USB対応 カードスロット microSD対応スロット
再生スピード調節(DPC)	3.00倍速 ~ 0.25倍速: MP3/WMA/AAC-LC/LPCM
実用最大出力	300 mW
電源	DC 3.0 V、単4形アルカリ乾電池
動作温度	5 °C ~ 35 °C
最大外形寸法 (最大突起部含まず)	約38.3 mm × 114.1 mm × 19.3 mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約74 g(単4形アルカリ乾電池2本含む)
付属品	6ページ参照

*1 メモリー容量の一部をデータ管理領域として使用しています。

*2 ICレコーダーで内蔵メモリーを初期化した場合

*3 すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。

*4 これに加えてICレコーダーの各録音モードで録音したMP3ファイルの再生にも対応しています。

*5 WMA Ver.9には準拠していますが、MBR(Multi Bit Rate)、Lossless、Professional、Voiceには対応していません。

*6 著作権保護されたファイルは再生できません。

ICレコーダーの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

最大録音時間

録音モード、録音シーンの設定別で、最大録音時間*1*2を記載しています。
最大録音時間は、全フォルダ合わせて表のとおりです。

録音モード (録音シーン*3)	内蔵メモリー
LPCM 44.1kHz/16bit	5時間20分
MP3 192kbps ( /  /  /  /  / 	39時間45分
MP3 128kbps ( / 	59時間35分
MP3 48kbps (MONO)	159時間

録音モード (録音シーン*3)	メモリーカード			
	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
LPCM 44.1kHz/16bit	6時間5分	12時間10分	24時間20分	48時間40分
MP3 192kbps ( /  /  /  / 	44時間40分	89時間25分	178時間	357時間
MP3 128kbps ( / 	67時間5分	134時間	268時間	536時間
MP3 48kbps (MONO)	178時間	357時間	715時間	1,431時間

*1 連続録音の場合は、別売りのUSB ACアダプターが必要になります。

詳しくは電池の持続時間(77ページ)をご確認ください。

*2 表記の最大録音時間は目安です。カードの仕様によって変わることがあります。

*3 お買い上げ時の設定です。

音楽ファイル最大再生時間／ファイル数*

ビットレート	再生時間	曲数
128 kbps	59時間35分	893ファイル
256 kbps	29時間45分	446ファイル

* パソコンにある1ファイル4分のMP3ファイルを転送して再生する場合

電池の持続時間

乾電池の持続時間*1

(アルカリ乾電池LR03 (SG)を連続使用時)

録音モード	録音時	内蔵スピーカー再生時	ヘッドホン再生時	FMラジオ録音時
LPCM 44.1 kHz/16 bit	約40時間	約16時間	約37時間	—
MP3 192 kbps	約55時間	約18時間	約43時間	約20時間
MP3 128 kbps	約57時間	約18時間	約45時間	約20時間
MP3 48 kbps (MONO)	約62時間	約18時間	約45時間	約20時間
音楽ファイル (MP3 128kbps)	—	約18時間	約45時間	—
FMラジオ受信	—	約13時間	約20時間	—

充電式電池の持続時間*1

(充電式ニッケル水素電池NH-AAAを連続使用時)

録音モード	録音時	内蔵スピーカー再生時	ヘッドホン再生時	FMラジオ録音時
LPCM 44.1 kHz/16 bit	約34時間	約12時間	約29時間	—
MP3 192 kbps	約40時間	約14時間	約34時間	約16時間
MP3 128 kbps	約41時間	約14時間	約34時間	約16時間
MP3 48 kbps (MONO)	約47時間	約14時間	約34時間	約16時間
音楽ファイル (MP3 128kbps)	—	約14時間	約34時間	—
FMラジオ受信	—	約10時間	約16時間	—

*1 当社規定による測定値です。使用条件によって短くなる場合があります。

使用上のご注意

使用場所について

運転中の使用は危険ですでおやめください。

取り扱いについて

- 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけないでください。ICレコーダーの故障の原因となります。
- ICレコーダーをお使いになるときは、キャビネットの変形や故障を防ぐために、次のことを必ずお守りください。
 - ICレコーダーをズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない。
 - ICレコーダーにヘッドホンを巻き付けたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えない。
- 次のような場所には置かないでください。
 - 温度が非常に高いところ(60℃以上)。
 - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
 - 窓を閉めきった自動車内(特に夏期)。
 - 風呂場など湿気の多いところ。
 - ほこりの多いところ。
- 水がかからないようご注意ください。ICレコーダーは防水仕様ではありません。特に以下の場合、ご注意ください。
 - 洗面所などでICレコーダーをポケットに入れての使用。
身体をかがめたときなどに、落として水濡れの原因になる場合があります。
 - 雨や雪、湿度の多い場所での使用。
 - 汗をかく状況での使用。
濡れた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットにICレコーダーを入れると、水濡れの原因になることがあります。
- 空気が乾燥する時期にヘッドホンを使用すると、耳にピリピリと痛みを感じるがありますが、ヘッドホンの故障ではなく、人体に蓄積された静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着的けていただくことにより、軽減されます。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

ノイズについて

- 録音中や再生中にICレコーダーを電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中にICレコーダーに手などが当たったり、こすったりすると、雑音が入ることがあります。

お手入れ

本体表面が汚れたときは、水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や、ICレコーダーの故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ず予備として、パソコンまたはメモリーカードに保存してください。

ICレコーダーを廃棄するときのご注意

廃棄するときは、内蔵メモリーの初期化(62 ページ)を行い、すべてのデータを削除してください。

ACアダプターを使用するときのご注意

ACアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。

microSDカードのご使用について

- 初期化は必ず本機で行ってください(62 ページ)。パソコンなど本機以外の機器を用いて初期化したmicroSDカードは、本機での動作を保証しません。
 - すでにデータが書き込まれているmicroSDカードを初期化すると、そのデータが消去されてしまいます。誤って大切なデータを消去することがないように、ご注意ください。
 - microSDカードは、小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
 - 録音／再生／初期化中は、microSDカードを抜き差ししないでください。故障の原因となります。
 - 表示窓に「接続中/アクセス中」、「保存中」、「しばらくお待ちください」が表示されている間は、microSD カードを取り出さないでください。データが破損するおそれがあります。
 - microSDXCカード(64GB以上)は、ご使用になれません。
 - 対応仕様のmicroSDカードでも、すべてのmicroSDカードでの動作を保証するものではありません。
 - ROMタイプのmicroSDカード、誤消去防止、書き込み禁止のmicroSDカードは、使用できません。
 - 以下の場合、データが破壊されることがあります。
 - －読み込み中、書き込み中にmicroSDカードを取り出したたり、機器の電源を切った場合
 - －静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
 - お客様の記録したデータの破損(消滅)については、弊社は一切その責任を負いかねますのでご容赦ください。
 - 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
 - 端子部には手や金属などを触れないでください。
 - 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
 - 分解したり、改造したりしないでください。
 - 水にぬらさないでください。
 - 以下のような場所ではお使いにならないでください。
 - －使用条件範囲以外の場所(炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど)
 - －湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
 - ご使用の際は正しい挿入方向をご確認ください。
 - ラベルなどを貼らないでください。
- microSDカードが取り出せなくなる可能性があります。



下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

火の中に入れない



禁止

内部を開けない

感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



分解禁止

運転中は使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分ご注意ください。



禁止

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。



禁止

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。



接触禁止

周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない

踏切りや駅のホーム、車の通る道、工事現場などでは、周囲の音が聞こえないと危険です。

そのような場所では使用しないでください。事故やけがの原因となります。



禁止



下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くとときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



禁止

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音がでて耳を痛めることがあります。



禁止

- 本製品の不具合により、録音や再生ができなかった場合、および録音内容が破損または消去された場合など、いかなる場合においても録音内容の補償についてはご容赦ください。
また、いかなる場合においても、当社にて録音内容の修復、復元、複製などはいたしません。
- 本製品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- お客様が録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 本機で録音された音声ファイルには、著作権保護技術は使用されていません。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、以下の注意事項を必ずお守りください。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。
種類によっては該当しない注意事項もあります。

充電式電池

ニカド (Ni-Cd)

ニッケル水素 (Ni-MH)

リチウムイオン (Li-ion)

乾電池

アルカリ、マンガン

電池を火のそばや直射日光のあたるところなど、高温の場所で使用、保管、放置しないでください。

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

危険 充電式電池、乾電池が液漏れしたとき

- 充電式電池、乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。
- 液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口（裏表紙）またはソニーサービス窓口に相談する。
- 液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるため、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師に相談する。
- 液が身体や衣服についたときは、やけどやけがの原因になるため、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談する。

危険 充電式電池について

- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 取扱説明書に記載された充電方法以外で充電しない。
- バッテリーキャリングケースが付属されている場合は、必ずキャリングケースに入れて携帯、保管する。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。

- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の充電式電池以外は使用しない。
- 長時間使用しないときや、長時間USB ACアダプターで使用するときには取りはずす。
- 液漏れした電池は使わない。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。

日本国内での充電式電池の廃棄について



ニッケル水素充電式電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素充電式電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

Ni-MH

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については一般社団法人JBRCホームページ<http://www.jbrc.com/>を参照してください。

警告 乾電池について

- 小さい電池は飲み込むおそれがあるので、乳幼児の手の届かないところに保管する。電池を飲み込んだときは、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談してください。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解したり、加熱したりしない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときや、USB ACアダプターで使用する時も取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 液漏れした電池は使わない。

注意 乾電池について

- 火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の電池以外は使用しない。

お願い

使用済み充電式電池は貴重な資源です。端子(金属部分)にテープを貼るなどの処理をして、充電式電池リサイクル協力店にご持参ください。

著作権と商標について

著作権について

- 権利者の許諾を得ることなく、このマニュアルの全部または一部を複製、転用、送信等を行うことは、著作権法上禁止されております。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上権利者に無断で使用できません。

著作権の対象になっている画像やデータの記録されたメディアは、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。

モジュールについて

Sound Organizer 2は、以下のソフトウェアモジュールを使用しています。
Windows Media Format Runtime

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- macOSは米国その他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- 本機は、Fraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術特許に基づく許諾製品です。
- microSD、microSDHCおよびmicroSDXCロゴはSD-3C, LLC. の商標です。



その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

なお、本文中では®、™マークは明記していません。

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft Corporation. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft or an authorized Microsoft subsidiary.

ライセンスについて

ライセンスに関する注意

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されております。

当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンス内容(英文)に関しては、ICレコーダーの内蔵メモリー内に記録されています。ICレコーダーとパソコンをマストレージ接続し、「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License(以下「GPL」とします)または、GNU Lesser General Public License(以下「LGPL」とします)の適用を受けるソフトウェアが含まれております。

お客様はGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードは、Webで提供しております。

ダウンロードするには、以下のURLにアクセスしてください。

<http://www.sony.net/Products/Linux/>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容(英文)に関しては、ICレコーダーの内蔵メモリー内に記録されています。ICレコーダーとパソコンをマストレージ接続し、「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

索引

数字、アルファベット順

1ファイル削除	55
AAC-LC	74
A-Bリピート	42
DPC (Digital Pitch Control)	40
FMラジオ	46
LCF (Low Cut)	29
LPCM	74
microSDカード	11, 62
MP3	74
NCF (Noise Cut)	29
USB ACアダプター	13, 75
VOR (Voice Operated Recording)	30
WMA	74

五十音順

あ行

アフターサービス	73
イージーサーチ	41
オートパワーオフ	12
オートプリセット	53
お手入れ	79
オプションメニュー	16, 18
音声出力選択	49
音量調節	35

か行

外部入力設定	29
書き起こし用再生	42
各種設定	15, 17, 61
各部のなまえ	7
キュー	41

クリアボイス	40
現在位置分割	59
現在のトラックマーク	58
困ったときは	66

さ行

再生	34
再生モード	43
最大録音時間	76
削除	54, 55
シーンセレクト	24
時刻表示形式	62
システム構成	65
自動トラックマーク	30
修理	73
仕様	74
使用上のご注意	78
スキャン感度	49
全てのトラックマーク	58
全てのトラックマーク位置	59
設定初期化	62
操作音	10, 61

た行

他の機器で録音	33
地域設定	46, 52
電源を入れる	8
電池の持続時間	68, 77
電池マーク	9
動作表示ランプ	21, 61
時計設定	10, 61
トラックマーク	57
トラックマーク削除	58
トラックマーク追加	57

な行

内蔵マイク	20
内蔵マイク感度設定	27
内蔵メモリー	62
長押しリピート	42
ノイズ	23, 67

は行

パソコンを活用する	64
ファイル移動	60
ファイルコピー	60
ファイル削除	54
ファイル情報	44
フォルダ	22
フォルダ削除	55
フォルダ作成	22
プリセット選局	48
プリセットリスト選択	52
分割	59
編集	54, 69
放送局名変更	53
ホームメニュー	14
ホールド	12
保護	56
保証書	73
本体情報	63

ま行

マニュアルスキャン選局	48
メニュー	14

ら行

レビュー	41
録音	20
録音可能時間	63
録音先フォルダ	22, 51

録音時間	76
録音情報	29
録音フィルター	29
録音モード	27, 51

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- ホームページで調べるには
→ ICレコーダー サポート・お問い合わせへ
(<http://www.sony.jp/support/ic-recorder/>)

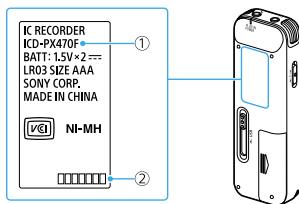
ICレコーダーに関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内するホームページです。

- 電話・FAXでのお問い合わせは
→ ソニーの相談窓口へ
(91ページに記載の電話・FAX番号)

本機の商品カテゴリーは[ICレコーダー]です。
お問い合わせの際は、次のことをご知らせください。

セット本体に関するご質問時：

- 型名 (①)：ICD-PX470F
- ご相談内容：できるだけ詳しく
- シリアルナンバー (②)：本体裏面に記載
- お買い上げ年月日



ソフトウェアに関連するご質問時：

質問の内容によっては、お客さまのシステム環境について質問させていただく場合があります。

上記内容に加えて、システム環境を事前に分かる範囲でご確認いただき、お知らせください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<https://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口

フリーダイヤル

…………… **0120-333-020**

携帯電話・PHS・一部のIP電話

…………… **050-3754-9577**

修理相談窓口

フリーダイヤル

…………… **0120-222-330**

携帯電話・PHS・一部のIP電話

…………… **050-3754-9599**

※付属品の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX(共通) 0120-333-389



上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に

「**303**」+「**#**」を押してください。直接、担当窓口へおつながります。

ソニー株式会社

〒108-0075 東京都港区港南1-7-1



* 4 5 9 5 5 4 3 0 2 * (1)